

大江町～朝日町～白鷹町 幻の左荒線周遊ルート

JR左沢線・左沢駅とフラワー長井線・荒砥駅をむすぶはずだった「左荒線」、大正時代に建設が計画されたものの戦時中の混乱によって見送られることに。住民の悲願は叶うことなく幕を閉じたのだった。

その幻の左荒線が、タクシー運行によって「開通」！目玉となるのは、「最上川ビューポイント」にも選ばれている「最上川橋梁」や、最上川流域のなかでもとりわけ美しい「五百川峡谷」など。大江町・朝日町・白鷹町それぞれの観光名所を訪ね、開通のロマンを感じたい。



左沢駅～荒砥駅レトロバス



おしゃれなロンドンタクシーが左沢駅を出発し、大江・朝日・白鷹の観光スポットをめぐるながら荒砥駅へ到着。地元ボランティアガイドの案内や、ご当地グルメも楽しみ。
問/白鷹町産業振興課 ☎0238-85-6126

あゆ茶屋

様々なあゆ料理が味わえる。とくに塩焼きは、シンプルな味わいと香ばしさが人気。全国有数の観光やナ場所ぜひのぞいてみよう。
問/☎0238-85-5577



舟楫の里案内人の石川 博賢さん

左沢まちなみ散策

最上川舟運によって開拓された左沢のルーツを発見！かつてこの町は、最上川舟運の船着場であり、上方へ米俵などの物資を運んでいたところ。その滞りに、京都祇園囃子の流れをくむ囃子屋台や時代館などの様々な文化が選ばれてきたという。最上川河川敷を歩くと、当時の舟楫が開こえてくるようだ。
問/大江町産業振興課 ☎0237-62-2139



▲朝日町ワイン城
地元朝日産のおぶどうを使った、味わい深いワインが評判。オリジナルラベルを作って、おみやげにいかが。
問/☎0237-68-2611



▲最上川フットバス明鏡橋
鉄筋コンクリートアーチ橋で、2006年度の選奨土木遺産に認定。建造は1937(昭和12)年で、美しい形状を誇り上げた当時の技術の高さを今に伝えている。
問/朝日町観光協会 ☎0237-67-2134

あさひ旅のココロ館

(朝日町総合観光案内所)
朝日連峰と最上川の渓流をイメージした内装と、開放的な空間が心地よい。地元の人が気軽に立ち寄る憩いの場にもなっている。
問/朝日町観光協会 ☎0237-67-2134



▲カフェ蔵
江戸時代の蔵を改修した店内で、季節ごとに変わる和風・洋風ランチや、地元菓子店のスイーツと抹茶のセットなどが味わえる。
問/☎0237-67-2377

みちくの会
柴田 葵子さん



地元の食材をふんだんに使ったランチが自慢。一週間前までの予約で、珍しいダチョウ肉が味わえる。



▲樺平の棚田とヒメサユリ
「棚田百選」のひとつ、樺平の整備された田圃風景と、可愛らしいピンクのヒメサユリが同時に眺められる一本松公園は、おすすめのビューポイント！
問/朝日町観光協会 ☎0237-67-2134

まちなみを楽しむ オプションプラン

2つのローカル線とレトロバスで行く“まぼろしの左荒線街道” ガイドと散策

最上川舟運で栄えたまちを散策し、ヒメサユリが咲く公園から棚田百選の景色を一望。地産地消のランチやスイーツも満喫。

- 出発日/5月21日(土)～6月12日(日)の毎週金・土・日曜日
- 食 事/昼食1回付
- 料 金/おとな・子ども同額 **4,400円** ※2名様以上でお申し込みください。

A23188028-00(定)5 完全予約制



左沢線営業所 本郷所長



◀やまのり菓子舗

厳選した地元の素材を使ったスイーツが大評判！全国菓子博覧会で金賞を受賞したまんじゅうや、古代米のヘルシー大福、どら焼きなど種類豊富。
問/☎0238-85-2146

行程	所要時間:4時間5分・移動距離約35km	●左沢駅に10:10までに集合ください。 ※左沢まちなみ散策後はすべてバス移動となります。
出発 左沢駅 ▶ 左沢まちなみ散策	10:15 (約50分)	朝日町ワイン城(見学・試飲) (約20分)
最上川フットバス散策	(選奨土木遺産 明鏡橋) (約15分)	樺田とヒメサユリ鑑賞 (約15分)
カフェ蔵(昼食)	(約40分)	黒澤別荘とつづて石 (約10分)
白鷹菓子舗	(約15分) ※運行日によって変更の可能性があります。	文六地蔵 (約5分)
荒砥駅	14:20到着	

完全予約制 手仕舞後、特外の手配はできません。